

道徳科学習指導案

日 時 令和元年10月23日(水) 5校時
生 徒 天塩町立天塩中学校 第1学年 22名
指導者 鴻 上 優 美

1 主題名 みんな同じがよいのか 【A-3 向上心, 個性の伸長】

2 教材名 「トマトとメロン」(日本文教出版)

3 内容項目の指導の観点

自己を見つめ, 自己の向上を図るとともに個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。

4 主題設定の理由

(1) 教材観

「自己を見つめ」とは, 様々な行為をする自己について省み, その過程において現在の自分や将来こう在りたいという自己を見つめ直すことである。中学1年生の時期は, 自分の姿を自らの基準に照らし合わせたり, 他者との比較において自分を捉えたりするため, 他者と異なることへの不安から, 自分の至らなさに思い悩むことも少なくない。

本資料で大切にしたい道徳的価値は, 「人それぞれがもっている固有のよさを認め, 精一杯生きることが大切なのだ」と考える作者である相田みつをさんの人間味あふれる主張である。そこで, 本授業では, まず「自分と他の人を比べること」に対する作者の指摘に気付かせることで, 自分の特性を捉えさせ, さらに作者が, 「どう生きたらよい」と言っているのかについて生徒一人一人が考える時間と互いの意見を確かめ合う時間とを十分に確保することで, 自己の内面に目を向けて前向きに自分を信じて進んでいこうとする道徳的实践意欲・態度を引き出していきたい。

(2) 生徒観

5月に実施した道徳アンケートにおいて, 本時の内容項目に関連する質問事項の結果及び, 道徳の授業に関する質問事項の結果は以下の通りである。

質問事項	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
自分のよいところを知り, その良さを伸ばそうと努力している。	50%	44%	6%	0%
道徳の時間の授業は好きだ。	22.5%	55%	22.5%	0%
道徳の授業では, 自分の考えを伝えたり他の人の考えを聞いたりしながら, 自分のこと(生き方)についてよく考えている。	50%	44%	6%	0%

また, 本授業の導入にあたり, 次のような事前アンケートも行った。

あなたは自分が好きですか。	好き		好きでない	
	40%		60%	
あなたは自分のよいところをいくつあげられますか。	5個以上	3~4個	1~2個	なし
	35%	20%	30%	15%
あなたは自分と他の人を比べて喜んだり落ち込んだりしたことがありますか。	ある		ない	
	85%		15%	
あなたは自分の考えや行動が他の人と違っていたとき, 自分の主張を通すことができますか。(理由も)	できる		できない	
	35%		65%	
	・自分が正しいと思ったら主張することは大切だから ・自分の考えを他の人に知ってもらいたい		・自分が間違っていたら嫌だから ・自分が変に目立つのが嫌だから ・他の人と違ったら不安になるから ・他の人があっている行動をしていると思ってしまう	

自分のよいところに気付いている生徒が半数おり, 自己肯定感が育っているようにうかがえる。しかし, 自分と他者を比べてしまう傾向が強く, 自信のなさや恥ずかしさなどを理由に, 自分を表現することに対して消極的な生徒が多いことが分かる。

5 研究の視点との関わり

(1) 視点1 自己の学習を見直し、振り返る主体的な学び

①興味や関心を高める

②見直しをもつ

③振り返って次につなげる

道徳科の授業が自分事として考える主体的な学びとなるよう、道徳アンケートや授業事前アンケートを実施し、日常生活の経験に根ざした価値観を客観的に把握する工夫をした。(①) さらに、本時のように同じ内容項目の学習が2回目の場合は、前時でのワークシートや感想記述も振り返りながら課題を設定するよう工夫している。(①) 本時の導入では、切実感のある課題となるとともに学習内容に迫る動機付けにするために、前時に考えた「自分の良さを伸ばしていくために大切なことは何か」と、それから4か月間の日常においてどれだけ実践できているかという、実践していこうという思いと実際にはできていないという現実のずれに気付かせたい。(①, ②)

また、振り返りの場面では、振り返りシートに次のような項目を設け、継続的な振り返りを行っている。学習内容、学びの過程、それぞれの視点から振り返ることで、自分の考えの変容や成長を自覚することができる。(③)

①今日の授業は自分のためになった。

②他の人の意見を聴き、色々な考え方を知ることができた。

③自分の考えをもち、記述することができた。

④「自分はどうか」と考えたり、自分の経験を思い出したりして考えを深めた。

⑤「これから～していきたい」「こうすればいいの？」などのように日常生活に活かしたいことを見つけられた。

⑥授業を通して、考えが変化したこと、広がったこと、深まったことを書こう。

(2) 視点2 思考を広げ、確かな学びに向かう対話的な学び

①互いの考えを比較する

多面的・多角的な思考を促すために、課題追求の発問を次の4つの段階を踏んで、価値に迫っていくように発問を工夫した。

a.共感的な発問「自分がトマト(メロン)だったら相手と比べも競争もしてないの？」

「自分がトマト(メロン)だったら、並べられて、比べられたり、競争させられたりするの、いい迷惑なの？」

b.分析的な発問「なぜ、トマトとメロンを比べてもしょうがないのだろう」

c.投影的な発問「他の人と自分を比較してしまうのはなぜだろう」

d.批判的な発問「この詩を通して、相田さんは私たちに「どう生きたらいい」と言っているのだろう」

a から d へと段階が進むにつれ、資料内容を自分と重ねながら考え、d の段階では資料を客観的に見ながら自分自身の気持ちや考えを明らかにすることができると考える。

さらにdの発問場面ではグループで対話させることにより、それぞれの考えを共有、吟味することができ、最後の発問(課題解決)に対する選択肢を明確にすることができると考える。その際、対話の中で自分と「同じ考え」「似た考え」「ちがう考え」に触れたときに、自分の考えの何が深まったのか、何が広がったのかを可視化できるようワークシートを工夫した。そうすることで、対話を通しての互いの考えの相違点や関連性、自分の考えの変容に気付くことができ、確かな学びにつながると考える。

②思考を表現に置き換える

本時では、思考ツール「PMI」(次項参照)を活用する。項目を「自分の自信があるところ(自分の好きなどころ)」「自分の足りないところ(自分の至らなさ)」「自分の長所なのか短所なのかよくわからないところ(自分の特徴)」とすることで、自分の内面をいろいろな側面から見つめ直すことができ、どれもが自分の特性であることに気付かせることへの手立てとした。

生徒は直感的なイメージで物事を判断しがちであるため、本時においても「自分の自信があるところ」と「自分の足りないところ」は根拠をもって書き出すことができると考える。そのため、自分自身を評価しにくい、3つ目の項目「自分の長所なのか短所なのかよくわからないところ」を表出できるかが自分を見つめ直すカギとなる。生徒自身が自分自身の長所とも短所とも判断し難い特徴を考えることで、自分らしさを多面的に捉えることができ、道徳的価値の理解を深めることができると考える。

【PMI】

P Plus プラス いいところ	M Minus マイナス だめなところ	I Interesting インテレストィング おもしろいところ

対象としたテーマについて、「いいところ (plus)」「だめなところ (minus)」「おもしろいところ (interesting)」の3つの視点から印象や意見を感じたままに書き出す。特に3つ目の「おもしろいところ」が重要であり、簡単に「いい」や「だめ」の判断が難しい事柄のイメージを膨らませることが大切である。シート全体を総合的に見ながら、自分は3つの角度からどのように考えて、最終的にはどのように思うのか、意思決定を行うことに有効である。

6 A-3 (向上心・個性の伸長) の指導計画

月	主な学習内容および学習活動 ◆資料 ○発問 □気付かせたい道徳的価値 【 】活動形態	■評価規準 () 評価方法 【 】研究の視点
6	<p>◆まだ進化できる ～イチロー選手の生き方～ (教育出版)</p> <p style="text-align: center;">自分のよさを伸ばすには？</p> <p>1 自分の「いいところ」について考える。 2 「まだ進化できる」を読んで考える。 ○大記録を達成しているのになぜ「まだ進化できる」と言っているのだろう。【個】 ○イチロー選手が大記録を達成することができたのはなぜだろう【ペア】 ○イチロー選手の言葉で自分が大切だと思った言葉と、その理由を書こう。【個】【全体】 3 授業の内容をまとめ、今後の生活につなぐ。 ○自分のよさを伸ばしていくために大切なことは何か。【個】【全体】</p> <p style="text-align: center;">失敗を恐れずに小さなことを積み重ねることが大切</p>	<p>■自分の良さを伸ばすために意識したいことについて、考えを広げているか。(ワークシート・発言)</p> <p>【視点2①】 互いの考えを比較する 【視点1③】 振り返って次につなげる</p>
10 本時	<p>◆トマトとメロン (日本文教出版)</p> <p style="text-align: center;">自分らしさって？</p> <p>1 事前アンケートの内容「自分のことが好きか」について話をする。 2 「トマトとメロン」を読んで考える。 ○なぜ、トマトとメロンを比べてもしょうがないのだろう。【個】 ○他の人と自分を比較してしまうのはなぜだろう。【ペア】 ○この詩を通して、相田さんは私たちに「どう生きたらいい」と言っているのだろう。【個】【グループ】</p> <p style="text-align: center;">自分らしさは人それぞれ。</p> <p>3 自分に置き換えて考える。【個】【ペア】【全体】 ○自分らしさとは何だろう。</p>	<p>■自分らしく生きることの大切さに気づき、自己を分析し、自分らしさについて深く考えることができたか。(ワークシート・発言)</p> <p>【視点1①】 興味や関心を高める 【視点2①】 互いの考えを比較する 【視点2②】 思考を表現に置き換える 【視点1③】 振り返って次につなげる</p>
3	<p>◆自分の性格が大嫌い！ (東京書籍)</p> <p style="text-align: center;">自分との付き合い方とは？</p> <p>1 漫画を読んで自分の欠点や性格について考える。 2 「自分の性格が大嫌い！」を読んで考える。 ○「自分との付き合い方」を覚えると、人生が楽になるのはどうしてだろう。【ペア】 3 自分の欠点や短所にどう向き合うかを考える。 ○あなたの短所はどのようなところだろう。また、その短所はどのようなところで役立っているだろう。また、役立ちそうか。【個】【グループ】【全体】</p> <p style="text-align: center;">長所と短所は裏表。短所は長所にもなり得る。自分を客観的に見ることも大切</p>	<p>■自分との付き合い方を考え、自分のよさや個性を生かし、伸ばすことを自分の問題として考えることができたか。(ワークシート・発言)</p> <p>【視点1①】 興味や関心を高める 【視点2①】 互いの考えを比較する 【視点1③】 振り返って次につなげる</p>

7 本時のねらい

相田みつをさんの考え方を通して、自分らしさは人それぞれということに気付き、自己を分析し自分らしさについて深く考えることができる。

8 本時の展開

	○主な学習活動と発問 () 活動形態 □課題 □気付かせたい道徳的価値 ・予想される生徒の発言等	◇教師の主な働きかけ *留意点	◇評価規準 () 評価方法【】 研究の視点 ▲努力を要すると判断される生徒への手立て
導入 (5)	○具体的な事例からテーマについて考える。 ○課題をおさえる。 自分らしさって？	◇前時の感想「自分のよさを伸ばすために大切なこと」に触れる。 ◇事前アンケートより「あなたは自分が好きですか」「自分のいいところをいくつか言えますか」の項目に触れる。	【視点1①】 興味や関心を高める 【視点1②】 見通しをもつ
展開 前段 (20)	○詩を読む。 ○当事者同士は…という箇所に着目し考える。(全体) ○比べることの無意味さについて考える。(全体) 「なぜ、トマトとメロンを比べてもしょうがないのだろう」 ・そもそも違うから(味, 種類, 色, 値段, 栄養価) ○事前アンケート「あなたは自分と他の人を比べて喜んだり落ち込んだりしたことがありますか」に触れ、「他の人と自分を比較してしまうのはなぜだろう」(ペア) ・不安だから ・負けたくないから ・あっているか分からないから ・人より上に立ちたいから ○作者が作品に込めた思いについて考える。 (個→グループ) 「この詩を通して、相田さんは私たちに「どう生きてほしい」と言っているのだろう」 ・自分しかもっていないものを生かせ ・人と比べず自分らしく精一杯生きる ・自分らしく百点満点に生きる 自分らしさは人それぞれ。	◇補助発問 「自分がトマト(メロン)だったら相手と比べも競争もしてないの？」 「自分がトマト(メロン)だったら、並べられて、比べられたり、競争させられたりするの、いい迷惑なの？」 ◇一人一人違って当たり前なのに、つい他者と比較してしまう人間の弱さについて触れる。 *考えを深めるポイント ・そう生きると、どのような結果をもたらすか。 ・その生き方は、幸せになれるのか。	【視点2①】 互いの考えを比較する
展開 後段 (20)	○自分らしさについて考える(個→ペア→全体) 「あなたの自分らしさを分析してみましよう。」 (個) ・自分の自信があるところ ・足りないと感じているところ ・自分の長所なのか短所なのかよくわからないところ (ペア→全体) それぞれの「自分らしさ」について話し合う	◇思考ツール「PMI」を活用して、自分の特性を整理させる。 ◇全体で交流しながら、自分らしさの意味と比べることの意義について考えさせる。	【視点2②】 思考を表現に置き換える ◇自己を分析し、自分らしさについて深く考えることができたか。 (ワークシート・発言)
終末 (5)	○詩の朗読を聞く。 ○学習を振り返って、感想を書く。	*金子みすゞの「わたしと小鳥とすずと」を提示する。	【視点1③】 振り返って次につなげる

トマトとメロン

月 日 名前 _____

友達のどんな考えに心が動きましたか？同じ考えや自分とは異なるとき、下の吹き出しにつぶやいてみよう。

〇〇さんの「△△」の
発言は納得。だって「◇
◇」だなんて思うから。

同じ

似ている

似ている

ちがう

ちがう

この詩を通して、相田さんは（

）と言っているのだろう。

